

1.化学物質及び会社情報

昭和化学株式会社  
東京都中央区日本橋本町4-3-8  
担当  
TEL(03)3270-2701  
FAX(03)3270-2720  
緊急連絡 同上  
作成 平成21年12月10日

化学物質等のコード : 2204-1252

化学物質等の名称 : ビニルトルエン モノマー

2.危険有害性の要約

分類の名称 : 引火性、有害性、刺激性。  
危険性 : 引火性が強く、燃焼しやすい液体。蒸気は空気と混合して爆発性の混合ガスを形成する。容易に重合の恐れがある。  
有害性 : 誤飲や暴露すると有害。皮膚、眼、粘膜などを刺激する。長期間の暴露によって、健康への重篤な障害を生じる危険性がある。  
環境影響 : 魚介類の体内において濃縮性が低いと判断される化学物質(通産省公示)(p-メルスチレン)

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品  
化学名又は一般名 : ビニルトルエン モノマー  
(m-, p- 混合物 約65:35)(安定剤:TBC)  
成分及び含有量 : 98%以上(GC)  
化学式または構造式 : CH<sub>3</sub>C<sub>6</sub>H<sub>4</sub>CH:CH<sub>2</sub>  
分子量 : 118.18  
官報公示整理番号(化審法): (3)-8  
CAS No. : 25013-15-4  
危険、有害成分 : ビニルトルエン モノマー

4.応急処置

目に入った場合 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄した後、医師の診察を受ける。  
洗浄の際には、まぶたを開いて眼球のすみずみまで水が行き渡るようにする。  
吸入した場合 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、衣服、ネクタイ、ベルトなどをゆるめ、毛布などで保温して安静にする。直ちに医師の診察を受ける。その間、呼吸が停止、あるいは弱い場合には、状況に応じて人工呼吸を行う。  
嘔吐がある場合は、頭を横向きにして窒息に注意する。  
皮膚にふれた場合 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。多量の水または微温湯を流しながら洗浄する。必要に応じて石鹸などを用いて十分に洗い落とす。  
皮膚からも吸収され、その場で痛みなどの症状がなくても、障害が遅れて現れることがあるので、必ず医師の診察を受けること。  
飲み込んだ場合 水でよく口の中を洗浄し、直ちに医師の診察を受ける。無理に吐かせない。喉頭や食道の炎症、薬傷を悪化させる恐れがある。

5.火災時の処置

消火方法 ・適切な保護具を着用する。  
・火災を増大させる危険性があるものを周囲から速やかに取り除く。  
・関係者以外は安全な場所に退去させる。  
・消火活動は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。  
・棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。  
・燃烧または高温により容器が破裂する恐れがあるので、消火にあたっては距離をとるなど充分注意する。  
消火剤 ・水噴霧

- ・泡
- ・粉末
- ・二酸化炭素

## 6.漏出時の措置

- ・関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・付近の着火源、高温体などを速やかに取り除く。
- ・作業に際しては適切な保護具を着用し、衝撃、静電気にて火花が発生しないような装置、材質の用具を用いる。
- ・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備しておく。
- ・乾燥砂、不燃性吸収剤などに吸収させて密閉できる空容器に回収する。
- ・大量の流出には盛土で困って流出を防止する。
- ・完全に回収後、汚染された場所及びその周辺を多量の水で洗浄する。
- ・付着物、回収物などは、関係法規に基づき速やかに処分する。
- ・河川等へ排出されて、環境への影響を与えることのないよう注意する。

## 7.取扱いおよび保管上の注意

### 取扱い上の注意

取扱いは、換気の良い場所で行い、漏れ、あふれ、飛散しないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。  
周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。  
静電気対策を行い、作業衣、安全靴は導電性のものを用いる。  
取扱い機器や設備などは防爆型を用いる。  
熱や光などの影響下、急速に重合する可能性があるため充分注意する。  
適切な保護具を着用し、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないようにする。取扱い後は、手、顔などを良く洗う。

### 保管上の注意

長期間の保管により、重合などの危険性が増大するので、購入後は直ちに使い切る。やむを得ず保管する場合は以下の注意に従うこと。  
密栓した後、防爆型冷蔵庫に保管する。  
火気や熱源などの着火源から遠ざける。  
酸化剤から離して保管する。

## 8.暴露防止及び保護措置

管理濃度 設定されていない。

許容濃度 ACGIH TLV TWA 50 ppm

ACGIH TLV STEL 100 ppm

OSHA PEL : 8H TWA 100 ppm

NIOSH REL TO VINYL TOLUENE-air: 10H TWA 100 ppm

### 設備対策

- ・作業者が直接暴露されないように、できるだけ密閉化した設備又は局所排気装置を設ける。
- ・取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

### 保護具

保護眼鏡 保護眼鏡。状況に応じ保護面。

保護手袋 ゴム手袋等。

呼吸用保護具 状況に応じ防毒マスク、簡易防毒マスク等。

保護衣 保護衣。状況に応じ前掛け、長靴等。

## 9.物理的及び化学的性質

外観形状特性	特徴的な臭気のある無色透明液体
融点	-77
比重	0.90
沸点	170 ~ 171
蒸気圧	0.21kPa/25
蒸気密度	4.08
溶解度	水に不溶。アルコール、エーテルに混和する。
引火点	60
発火点	575
爆発限界 下限	1.9%
上限	6.1%

## 10.安定性及び反応性

安定性・反応性 熱、光、過酸化物質などの影響により、容易に重合する恐れがある。  
アルミニウム塩などの金属塩と激しく反応する。  
酸化剤、強酸との接触に注意する。

11.有害性情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

毒性

急性毒性 吸入すると頭痛、めまい、喉頭痛、感覚鈍麻、し眠などの症状が現れる恐れがある。また、神経系に影響を与えることがある。  
吸入や経口摂取により、あるいは経皮的に体内に吸収される。  
lhl-hmn TClO: 400 ppm  
orl-rat LD50: 2255 mg/kg  
skn-rat LDLo: 4500 mg/kg  
orl-mus LD50: 3160 mg/kg

亜急性毒性 データなし

慢性毒性 肝臓に影響を与え、脂肪変性を生じることがある。

刺激性(皮膚、眼) : 皮膚や眼に対する刺激性データが報告されている。

感作性 : 反復または長期間の皮膚接触により皮膚炎を起こすことがある。

変異原性 : mnt-mus-ipr 200 mg/kg  
msc-mus-lym 60 mg/L

変異原性(微生物、染色体異常): データなし

皮膚腐蝕性 : データなし

がん原性 : 発癌性についての評価が報告されている。  
IARC:3  
(ヒトに対して発癌性があると分類できない化学品)

生殖毒性 : ipr-rat TDLo: 3750 mg/kg (1-15D preg)

催奇形性 : データなし

暴露による影響(単回、反復、連続) : データなし

その他 : データなし

その他(水と反応して有毒なガスを発生する等を含む) : データなし

12.環境影響情報

環境影響情報 漏洩・廃棄などの際は、環境に影響を与える危険性があるので、取扱いに注意する。

蓄積性 魚介類の体内において濃縮性が低いと判断される化学物質  
(通産省公示)(p-メチルステレン)

その他 オクタノール/水分分配係数 Log Pow : 3.35

13.廃棄上の注意

適切な保護具を着用する。  
関係法規や条例に従って処理する。  
焼却処理する場合には、アフターバーナーおよびスクラバーを備えた焼却炉で焼却する。  
空容器を処分する時は、内容物を完全に除去した後に行う。  
処理施設がないなどの理由で廃棄できない場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14.輸送上の注意

容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。  
該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。  
(国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)

国連分類 : クラス3 (引火性液体) PG  
国連番号 : 2618 [ピニルトルエン(安定剤入りのもの)]  
海洋汚染物質: 非該当

15.適用法令

労働安全衛生法 施行令第18条の2 名称等を通知すべき有害物 No.464  
施行令 別表第1 危険物(引火性のもの)

化学物質管理促進法(PRTR法) 非該当

消防法 第4類引火性液体 第二石油類 指定数量1000L 危険等級

毒物及び劇物取締法 非該当

船舶安全法(危規則) 引火性液体類

航空法 引火性液体

海洋汚染防止法 有害液体物質 Y類物質

16.その他の情報

参考文献

化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社

労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)  
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編  
化学大辞典 共立出版  
安衛法化学物質 化学工業日報社  
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版  
化学物質安全性データブック オーム社  
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版  
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修  
中央労働災害防止協会編

---

このデータは作成の時点における知見によるものですが、かならずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。